

ブックトーク 『つなぐ・つながる・つながっている』

みなさんこんにちは。草津市立図書館から来ました、司書の二井治美です。

今日はブックトークをしにやってきました。

ブックトークって聞いたことありますか？(問いかけ・反応を見る)

簡単に言うと、一つのテーマで色々な本を紹介することです。

紹介していく本の中で、この本おもしろそうやなあとか、この続きどうなるの？というのがあったら、後で借りてくださいね。

今日のブックトークのテーマは「つなぐ・つながる・つながっている」です。

(まず、最初に紹介するつながる本は)自分の持っているちいさなものを、何かと物々交換していろんなものとながっていくお話。

「赤いクリップで家を手に入れた男」(表紙見せる)

です。著者のカイル・マクドナルドさんの実話です。

彼が仕事探しに悩み、履歴書を書きながら悶々としていたとき、ふと高校時代に挑戦した物々交換ゲーム「ビガー&ベター」を思い出します。(間)もしも手元にあるこの赤いクリップ(P16写真みせるまたは実物)でまたあのゲームをやったらどうなるだろう?きっかけは、こんな思いつきからでした。

物々交換を繰り返して最後に家(強調)を手に入れるまでのことがこの本(強調)に書かれています。

お調子者で、つめの甘いところのあるカイルの行動は読んでいてハラハラする場面もありますが、楽しむ気持ちを忘れずに、「直接出向いて、相手と直接会って交換する」という方針で乗り切っていきます。

また、各章の最後に書かれているお言葉の数々、例えば、(P34他、いろいろピックアップして紹介)など、彼の奮闘エピソードと一緒に味わうと説得力が増します。自分にとっての「もしも」や「夢」に前向きになれるノンフィクションです。

赤いクリップからどんな「ビガー&ベター」な物につながっていくのかその過程が気になる人、(間)そしてサクセスストーリーの主人公、お調子者で詰めが甘いカイルに興味がある人も、そして家を手に入れた後が気になる人も、後で手に取って読んでみてください。

「赤いクリップで家を手に入れた男」(本を表紙見せしてテーブルに置く)でした。

赤いクリップからいろんなものとながっていくお話でしたが、たった一粒のちいさな種がきっかけで、人々がつながっていく物語があります。

「種をまく人」(表紙みせる)

舞台はクリーブランドの移民が多く住むアパートに三方を囲まれた広い空き地。

ゴミ捨て場と化したその空き地にキムという1人の少女が豆の種を植えたことから物語は始まります。

その理由が書いてある部分を読みます(P3キムの絵見せる)(p6、ℓ1~11読む)

そんな思いがあるとは知らず、その様子をアパートの窓から見ていた老女アナ(P8アナの絵見せる)、そしてその老女に水やりを頼まれた友人の…ウェンデル(P13ウェンデルの絵見せる)。と、少女が空き地にまいた豆の種がきっかけでつながっていくアパートの人たち。このあと空き地や人々がどのように変わっていくのか?(間)続きを知りたい人は、読んで確かめてみてください。

「種をまく人」(本を表紙見せしてテーブルに置く)でした。

今紹介した本は、様々な人種が暮らすアパートで、小さな種がきっかけで人々がつながっていく物語でしたが、反対に他人とのつながりが強くなりすぎて悩んでいる高校一年生の女の子が主人公のお話があります。

「チェーンワールド」(表紙見せる)

主人公は高校1年生の^{こんのあおい}今野葵。

彼女の心境が書かれている部分を読んで見ます。(p6、ℓ1~p8、ℓ4抜粋して読む)

みなさんはどうでしょう?(問いかけ・間) こんな気持ちになったことはありますか?(問いかけ・間)

私はしばられ、そして監視されている。いつでもどこでも24時間、電波の続くかぎり、てのひらサイズのあの小窓から。という部分がありましたが、これは何を意味しているのか(間) みなさんももう気づいたと思います。

(間) そう、スマホ・SNSですね。

2カ月前、葵は一度入ったグループのメンバーと最初は仲良くやっていたのですが、グループのメンバーと自分が合っていないと気付いても、みずから抜ける勇気がありませんでした。

この後、友達をつくりたい、一人ぼっちになりたくないという気持ちがかえって自分を追い詰めていくことになります。この後、葵はどうなっていくのでしょうか(間)

この本は、SNSにかかわる人間関係のトラブルをテーマとした作品が3作紹介されています。すべて体験談や取材で集めた1中高生の声が基になっていますのでリアルな体験をもとに書かれています。

「チェーンワールド」(本を表紙見せしてテーブルに置く)でした。

つながりが鎖のように不自由で苦しく感じていた女子高生のお話ですが、これほど「つながり」のすばらしさを日本中、いや世界中に感じさせてくれたスポーツはなかったのではないのでしょうか。

そう「ラグビー」ですよ。

そんな華々しいワールドカップとは程遠い、素人ばかりの新設ラグビー部が(野球でいう甲子園)花園を目指す物語があります。

Go Forward! (表紙見せる)

主人公の酒田公男は22歳。名門・東京中央大学ラグビー部でEチームからの仕上がり、Aチームの補欠入りまではたしたものの、公式試合には5分しか出場できなかった。

就職が決まらず、恩師の伝手で私立櫻木学院高校の臨時体育教師にもぐりこむことができたのですが、そこで若い女性新理事長から、ラグビー部の立ち上げと、花園出場を命じられることから物語がはじまります。

なんとか集めた部員は全員素人ばかり。果たして理事長の命令通り、花園出場を果たすことができるのでしょうか?(間) 酒田と部員達、そして学校をとりまく人間関係はもちろんのこと、試合の描写も迫力があり、ラグビーを知らない人も楽しめる要素は満載です。

ラグビーについて酒田が語る部分を読んでみます。(p490、ℓ18~p491、ℓ4読む)

このセリフにスポ根ものに弱い私は胸が熱くなりました。

タイトルの「Go Forward!」は「前進する!」という意味です。読書で熱くなりたい人はぜひ読んでみてください。

Go Forward! (本を表紙見せしてテーブルに置く)でした。

ラグビーボールに気持ちとか心とか魂を託して仲間につないでいくおはなしでしたが、人はこの世に生まれ

たとき「命のバトン」を受け取って、やがて自分自身が死を迎えると大切な家族に「命のバトン」をつないでいくということを体験したおはなしがあります。

「恋ちゃんはじめの看取り」(表紙を見せる)

主人公は小学校5年生の恋ちゃん。滋賀県の東近江市山沿いにある集落におばあちゃんのおかあさん(ゆっくり)、おおばあちゃんの竹子さんと一緒に大家族でくらしていました。

90歳を過ぎても毎日元気に畑仕事していたおおばあちゃん。(間)

急にからだが弱くなってふとんからでられなくなってしまいます(P3見せる)

少し読んでみます。(P3-9読む) はじめて大切な家族を看取ることになった恋ちゃん。その様子とその後を丁寧な文章と写真でこの後も語られていきます。

「看取り」とは、大切な人が息を引き取るその旅立ちのとき、そばに寄り添い、感謝と別れを交わすことと著者は言います。恋ちゃんがこの後どんな風におおばあちゃんを看取ったのか(間)

おおばあちゃんがつないでくれた「命のバトンリレー」を感じる恋ちゃんの最後の言葉に涙があふれました。気になる人は手に取ってじっくり、ゆっくり読んでほしい本です。

「恋ちゃんのはじめの看取り」でした(本を表紙見せしてテーブルに置く)

今紹介した本は、生命力と愛情をつないでいく看取り(間)「命のバトンリレー」のおはなしでしたが、命がつながっているということ、理屈抜きに感じてもらえる絵本があります

「おじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃん」(表紙みせる)

です。途中まで読んでみますね。(P21まで読む)

みんなの命がたくさんのおじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃん(間)

たくさんのおばあちゃんのおばあちゃんのおばあちゃんのおばあちゃんからつながっていること

少しは感じてもらえましたか、この続きはいったいどんなおじいちゃんにつながっているのか、

知りたい人はあとで借りて「ひいひい」頑張っって言いながら読んで確かめてみてくださいね。

「おじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃん」(本を表紙見せしてテーブルに置く)

つなぐつながるつながっているというテーマでいろんな本を紹介してきました。

最後は、著者が教え子から「生きる意味が分からない」と悩みを打ち明けられたことがきっかけでできた、「つながっている本」を紹介して終わりたいと思います。

生きるって、なに？ (表紙みせる)

途中まで読みますね。(p1~p21まで読む)

こんな風に言葉がどんどんつながりながら進んでいきます。最後はいったいどんな言葉につながっているのでしょうか？(問いかけ・間) 知りたい人は、手にとって確かめてください。

もう一冊、「逃げろ 生きろ 生きのびろ！」(表紙見せる)も最近出版されました。合わせて読んでみてください。

「生きるって、なに？」「逃げろ 生きろ 生きのびろ」(本を表紙見せしてテーブルに置く)でした。

さて、今日のブックトークいかがだったでしょうか？(問いかけ・間)

私は司書として、今日のこのブックトークのように、「人」と「本」をつなげるのが仕事です。

これからの学校生活に、たくさんの「人」、そして「本」との素敵な出会い・つながりがありますように・・・

ブックトーク

『つなぐ・つながる・つながっている』

1. 赤いクリップで家を手に入れた男 ネット版わらしべ長者ものがたり

カイル・マクドナルド 著 西山 佑 訳 (河出書房新社) 936 マ



2. 種をまく人

ポール・フライシュマン 著 片岡しのぶ 訳 (あすなろ書房) 933 フ



3. チェーンワールド 高橋 幹子著 (金の星社) 913.6 タ

「NHK オトナへノベル SNSトラブル連鎖」より

4. GoForward! 櫻木学院高校ラグビー部の熱闘

花形みつる 著 (ポプラ社) 913.6 ハ



5. 恋ちゃんはじめての看取り おばあちゃんの死と向き合う

《いのちつぐ「みとりびと」1》 國森康弘 写真・文 (農山漁村文化協会) 490

6. おじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃん

長谷川 義史 作 (BL出版) E ビ



8. 生きるって、なに? / 逃げろ 生きろ 生きのびろ!

たかのてるこ 文と写真 (terubooks) 159 タ

